

かつらぎ町版模擬訓練実施マニュアル (案)

令和4年3月

かつらぎ町
環境省近畿地方環境事務所

目次

1章 目的	1
2章 模擬訓練の計画.....	2
(1) 対象地域の選定.....	2
(2) 仮置場の選定.....	2
(3) 模擬訓練プログラムの検討	2
(4) 使用する廃棄物の検討	2
3章 模擬訓練の準備.....	3
(1) 参加者の募集.....	3
(2) 住民が排出する片付けごみの調査	3
(3) 仮置場のレイアウト検討	3
(4) 資機材の準備.....	4
(5) 役割分担.....	6
4章 模擬訓練の実施.....	7
(1) 参加者の受付.....	7
(2) 実施方法の説明.....	7
(3) 模擬訓練の実施.....	7
5章 模擬訓練の振り返り.....	8
(1) 参加者との意見交換	8
(2) 有識者からの講評	8
(3) 参加者へのアンケート	8

【資料編】

- 資料 1 住民向け事前調査票（例）
- 資料 2 模擬訓練 実施要項（例）
- 資料 3 模擬訓練 様式
- 資料 4 基礎講座 事例

1章 目的

発災後、被災住民はできるだけ早く元の生活に戻ることを求めて、生活の妨げとなっている家の中の支障物（被災財）を災害廃棄物（片付けごみ）として排出する。このとき、発災直後の混乱期では被災住民に対して適切な排出方法や仮置場についての周知が十分に行われないう可能性がある。その結果、仮置場において混合廃棄物が発生することや、町が設定した仮置場以外へ排出するといった、その後の処理を困難とする状況になりかねない。処理が滞ることは、災害からの復旧・復興の遅れにつながることから、このような事態とならないよう、平時のうちから、適切な災害廃棄物処理について、住民へ周知することや、住民における分別排出等について訓練しておくことが重要である。

また、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めるためには、処理の前線に立つ町職員の教育訓練が必要であり、処理計画の策定だけでなく、実際に現場における動きを確認しておくことが重要である。

さらに、災害時の廃棄物の発生を抑制することができれば、迅速に処理を進めることができる。このため、災害廃棄物となり得る家庭内の退蔵品について、平時のうちに適切に排出することを促すことが重要である。

そこで、本マニュアルでは、住民を対象とした模擬訓練の実施及び仮置場等における町職員に対する教育訓練の実施に向けて、必要な検討事項や資機材等についてまとめたものである。

< 基本条件 >

- ・対象とする廃棄物：住民が自ら排出する片付けごみ（退蔵品）
- ・想定する仮置場：仮置場、住民仮置場（選定した地域の実情に適合するもの）

片付けごみは被災により排出されるものであるが、訓練では退蔵品や訓練用に溜めたごみを使用する。そのため、本マニュアルでは、訓練で使用するごみを「片付けごみ」という。

2章 模擬訓練の計画

(1) 対象地域の選定

模擬訓練を実施する地域を選定する。

選定する上での留意事項は次の通りである。

- ・仮置場(住民仮置場を含む)の候補地が確保できる。
- ・公民館等の集会スペースを確保できる。(駐車スペースも含めて)
- ・自治会等を通じて事前調査等の協力が得られる地域

(2) 仮置場の選定

模擬訓練で片付けごみを排出してもらう仮置場を選定する。

選定する上での留意事項は次の通りである。

- ・分別排出するスペースが確保できる場所。
- ・車両の進入が容易な場所。
- ・平坦な場所。
- ・可能であれば舗装等が施された場所。(裸地の場合は、養生の必要がある)
- ・候補地を選定したら、必ず現地地下見を行う。

(3) 模擬訓練プログラムの検討

模擬訓練プログラムを検討する。

検討する上での留意事項は次の通りである。

- ・開催日程(開催時期によって注意すべき事項が異なる。予備日の設定の有無。)
例:夏季...熱中症対策。冬季...防寒対策。降雪時の対応。
- ・基礎講座の内容。
例:災害廃棄物についての基礎。過去の災害事例。防災落語。 【資料4】
- ・模擬訓練の対象を検討する。
基本:対象地域の住民、かつらぎ町環境課職員
追加例:環境課以外の職員、収集運搬業者、ボランティア

(4) 使用する廃棄物の検討

模擬訓練で使用する廃棄物について、処理方法を含めて検討する。

基本 : 不要になった家具等の家財道具(なるべく平時と同じ収集区分とする)

対象外:生ごみ、資源ごみ、農業系の廃棄物、家電4品目

(5) 模擬訓練実施に向けた町予算の確保

町は住民仮置場に搬入した片付けごみを最終的に処理・処分をする必要があるため、訓練を実施するには、処理・処分に係る予算の計上等について検討する。

3章 模擬訓練の準備

(1) 参加者の募集

模擬訓練の参加者を募集する。

想定する参加者と、役割、募集方法については次の通りである。

- ・対象地域住民
役割: プレイヤー (各家庭から片付けごみを仮置場へ排出する。)
募集方法: 対象地域に申込用紙を配布【資料1】
- ・ボランティア
役割: プレイヤーの補助 (排出困難者を支援。仮置場での荷下ろし補助。)
募集方法: 和歌山県社会福祉協議会へ、和歌山県循環型社会推進課を通して募集依頼 (必要に応じてかつらぎ町社会福祉協議会を通しての募集も追加する。)
- ・かつらぎ町職員
役割: プレイヤー (仮置場での対応)
募集方法: 庁内で調整
- ・その他 (有識者、近隣市町村、廃棄物関連団体、マスコミ)
役割: オブザーバー
募集方法: 和歌山県やかつらぎ町から発信
住民やボランティアに対し、万が一の怪我等に備え保険へ加入することが望ましい。

(2) 住民が排出する片付けごみの調査

対象地域の住民が模擬訓練で排出を想定する片付けごみについて、参加申込(3章(1))を兼ねて、事前の調査を実施する。排出を想定する種類及び概ねの数量についても調査を実施する。【資料1】

調査票は、2章(4)で検討した平時のごみ区分を基本とし、具体例を記載する。また、模擬訓練では排出できないものについて明確にしておく。

さらに、事前調査の際に、自身で片付けごみの運搬が可能かどうかも確認する。

(3) 仮置場のレイアウト検討

2章(2)で選定した仮置場についてレイアウトを検討する。

レイアウトを検討する際の留意事項は次の通りである。

- ・2章(4)と3章(2)で検討した区分ごとにエリアを作る。
- ・積込みと荷下ろしの順番を考慮し、配置する。
例1: 区分がわかりやすいものから荷下ろしする。
廃家電や畳等単一種類のものを手前に配置する。
例2: 車両への積込み順序は、重い物から軽い物となることが想定される。
軽い物(布団、布類等)を手前に配置する。重い物(荷下ろしに時間がかかりそうなもの)を後方の配置にする。
- ・3章(2)の調査結果より、排出が想定される量によってエリアの大きさを決定する。
- ・仮置場場内の動線は一方通行を基本とする。


(4) 資機材の準備

模擬訓練で使用する資機材を準備する。

必要資機材は、訓練場所によって異なるが、基本的なものは次の通りである。

なお、場合によっては排出困難者の支援のために、車両を用意することも検討する。使用する車両は、軽トラック等を想定する。台数については要支援者の人数や排出予定の片付けごみの種類及び量によって調整する。

	資機材	用途	数量の目安
仮置場設置資機材	看板 看板表示用紙	・仮置場の案内 (出入口等) 	2枚程度
	カラーコーン 廃棄物区分表示用紙	・廃棄物区分の表示 	廃棄物種類分
	コンテナ	・平時にコンテナを使用して回収している種類の収集用 	複数個
	レイアウト表示板 (手元で見るタイプと大きく貼りだすタイプが考えられる。)	・搬入者が確認できるよう、レイアウトを表示 	複数枚
机	・受付用		1台

	資機材	用途	数量の目安
資料・様式類	模擬訓練 実施要項【資料 2】	・模擬訓練全体の説明のための資料 ・参加者には事前配布することが望ましい。	適宜
	かつらぎ町 災害廃棄物等の搬出マニュアル	・平時の啓発資料を配布し理解を得る。 ・事前に配布することが望ましい。	適宜
	模擬訓練用の住民周知用チラシ【資料 3-1】	・参加住民やボランティア向けの仮置場に関する案内。 ・注意事項や廃棄物区分、仮置場のレイアウトをまとめたチラシとし、実際の災害時でも使用することを想定して作成する。	適宜
	搬入受付簿【資料 3-2】	・搬入時の受付チェック用紙 ・搬入時間、搬入した人、廃棄物種類等をチェックできる様式とする。	複数枚
	模擬訓練アンケート【資料 3-3】	・模擬訓練に参加しての感想や意見を吸い上げる。	適宜
その他資機材	メジャー	・廃棄物種類別エリア作成時に使用	1～2 個
	テープ類	・用紙の貼り付け等に使用	複数個
	ライン引き	・エリア区分を明示する (ラッカーや、ロープ等でも代用可)	複数個
	ビブス ビブス表示用紙	・プレイヤーや事務局の役割分担を明確にするために着用。	参加人数分
	画版	・搬入受付簿用	2～3 枚
	誘導棒	・車両誘導に使用	2～3 本
	トランシーバー	・車両誘導等に使用	2～3 台
	拡声器	・屋外での説明時に使用	1 台程度
	カメラ、ビデオ	・訓練の様子を記録	適宜
	ヘルメット	・仮置場内の作業時に使用	各自持参
	軍手	・仮置場内の作業時に使用	各自持参
	筆記用具	(ペン、マジック等)	適宜
	感染症防止対策品	(フェイスガード、非接触式体温計、消毒用アルコール等)	適宜
	運搬車両	・排出困難者への支援 ・道路状況等にもよるが、軽トラック等を想定 ・場合によっては、リアカー等も準備する。	適宜
ダミーごみ	・参加者から排出される片付けごみが不足もしくは種類に偏りがある場合、段ボール等をダミーごみとする。 ・デモンストレーションとして、濡れた畳等を準備することも検討する。		

(5) 役割分担

当日の役割分担を決める。

役割は、業務の実施体制によって異なるが、基本的なものは次の通りである。

	役割	作業内容	人数の目安
会場 設営	室内	・座席等の準備 ・資料の配布	3～4人程度
	屋外	・カラーコーン配置、エリアの明示 ・看板や受付の設置 ・収集用コンテナの配置	4～5人程度
屋内 イ ベ ン ト	受付	・参加者の受付 ・氏名等の確認	2～3人程度
	車両誘導	・車両で来場の場合、駐車場等での車両誘導	2～3人程度
	司会	・全体の司会進行	1人
	説明	・資料の説明、訓練の説明	1人
	記録	・基礎講座等の様子を記録する。(写真、動画)	1～2人程度
	ファシリテーター	・模擬訓練の振り返りで意見交換する際に各グループでの進行役	複数人
模 擬 訓 練 中	訓練開始の合図	・必要に応じて、訓練開始の合図をする。 (どのような手段があるか地域と協議しておく。)	1人程度
	車両誘導係	・入口や出口、場合によっては、仮置場に入る直前の道路等からの車両の誘導を行う。	2～3人程度
	受付係	・搬入の受付を行う。 ・受付簿を使用して、搬入時間や搬入者、搬入する廃棄物の種類を確認し、仮置場内での注意事項を伝達する。	2～3人程度
	廃棄物受入係	・廃棄物区分ごとに担当者をつける。 ・1種類に1人の配置が難しい場合は、複数種類に1人でもよい。 ・搬入者の荷下ろしを補助する。	廃棄物種類分
	記録係	・自宅から積込み、運搬、搬入、荷下ろしの一連の流れを記録する。 ・仮置場内の全体の動きを記録する。	5～6人程度

4章 模擬訓練の実施

(1) 参加者の受付

2章(3)で検討したプログラムで、会場に参集する場合、参加者の受付を行う。

受付では、参加予定者(訓練参加申込みをした方)に加え、追加の参加者が出る場合があるため、氏名等の確認を行う。

また、新型コロナウイルス感染症等のリスクがある場合は、検温及び消毒、体調の確認を行う。

(2) 実施方法の説明

3章(4)で準備した「模擬訓練 実施要項」【資料2】や、「模擬訓練用の住民周知用チラシ」【資料3-1】を用い、模擬訓練の実施方法や注意事項について説明する。

なお、当日、会場に参集する機会を設けない場合は、事前の説明会を別途行うことが望ましい。

模擬訓練の流れと、仮置場内での注意事項、作業をする上での安全対策について、十分に周知する。

(3) 模擬訓練の実施

3章(5)で検討した役割分担を基に、模擬訓練を実施する。

模擬訓練中の留意事項は次の通りである。

- ・訓練開始時の合図をする方法があれば、実施を検討する。(必須ではない)
例:地域内放送で開始の合図をアナウンスする。
- ・実際の災害時は搬入車両が渋滞することも想定されるため、車両誘導係はスムーズな誘導及び一般車両の通行にも配慮する。
- ・場合によって、車両誘導は入口のほかに出口にも配置する。
- ・記録係は、参加者の中から選出した代表の方について、片付けごみの積込み準備から仮置場への搬入までの一連の流れを記録する。撮影や訪問時間等については、対象者との調整を行い、排出の妨げとならないようにする。
- ・仮置場内の訓練状況について、固定カメラ等で観測することも検討する。(ポールカメラやドローンを使用した、上空からの撮影も検討する。)
- ・廃棄物受入係は、搬入者へ指導する立場であるが、場合によっては荷下ろしの補助を行う。(基本的には、搬入者自ら実施する。)

5章 模擬訓練の振り返り

(1) 参加者との意見交換

模擬訓練終了後、参加者に再度参集していただき、実際に片付けごみを排出した感想や気づきについて意見交換する。

意見交換の例は次の通りである。

実際に、ごみを排出してみて、困ったこと、わからなかったこと

例:ごみの区分がわかりにくい。

運搬手段がなくて困った。

人手が足りなくて困った。

もし実際の災害だった場合、どのようにすればうまくいくのか、解決できるのか

例:ごみの区分をできるだけ少なくする。

災害時に自力で運搬できない場合の回収依頼を速やかにできるようにする。

なお、参加者が多い場合は、複数のグループに分けて、参加者全員の意見を吸い上げるようにする。さらに、グループ内の意見交換結果については、全体で発表していただき、意見を共有し、多面的な気づきを得ていただく。

(2) 有識者からの講評

有識者が参加する場合は、模擬訓練全体に対し講評していただく。

良かった点、改善すべき点等の指摘を受けることによって、より理解を深めていただくことにつなげる。

(3) 参加者へのアンケート

最後に、模擬訓練の内容についての理解度や、意見交換では言えなかったこと、全体を通しての感想等をアンケートで回答していただく。

意見交換の結果や、アンケート結果は、「かつらぎ町 災害廃棄物等の搬出マニュアル」の更新や、次回以降の模擬訓練へ活かせるようにする。

【資料編】

資料 1 住民向け事前調査票（例）

資料 2 模擬訓練 実施要項（例）

資料 3 模擬訓練 様式

- 3-1 模擬訓練用の住民周知用チラシ（例）
- 3-2 搬入受付簿（例）
- 3-3 模擬訓練アンケート（例）

資料 4 基礎講座 事例

- 4-1 災害によって発生するごみの基本 [資料提供：国土舘大学 森朋子先生]
- 4-2 防災落語『それ、ゴミやおまへんで、被災財でっせ』（演目概要）

[資料提供：小笠原浩一氏]

住民向け模擬訓練 ごみ（被災財）持込リスト

氏 名			
住 所	かつらぎ町大字		
連 絡 先			
ごみ持込確認		直接持込	引取要請
	どちらかに○印を付けてください。		
ごみ排出物一覧（右の欄に○印を付けてください。）			
可燃物 生ごみはダメ	・布類（例：ぬいぐるみ、手袋、タオル、雑巾） ※再利用できないもの		
②可燃粗大	・木製家具（例：たんす、食器棚、机、椅子）		
	・建具類（例：ふすま、網戸、障子）		
畳、布団、敷物類	・畳		
	・布団		
	・敷物類（例：マットレス、ソファ、カーペット、ござ）		
不燃物	・破碎選別ごみ		
	・ガラス（例：食器、鏡）		
	・陶磁器（例：食器、台所用品、植木鉢、タイル）		
	・瓦		
	・ブロック（例：コンクリートブロック、物干し台、レンガ）		
	・缶類（例：アルミ缶、スチール缶）		
	・ビン類		

* 裏に続きます *

⑤金属くず	・スチール家具	
	・鍋、やかん	
	・自転車（例：一輪車、自転車、三輪車）	
⑥廃家電	・家電（例：アイロン、電子レンジ、扇風機、電気ポット）	
	パソコン、エアコン、テレビ、冷蔵庫（冷凍庫）、洗濯機（衣類乾燥機）以外のもの 【今回は不可としダミーごみで対応】	X
⑦処理困難物	・スプレー缶	
	・電池	
上記のどれに当てはまるか、わからないもの	具体的に：	

生ごみ・プラスチック製容器包装類・ペットボトル・古紙類・パソコン・エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機等の電化製品は、今回の訓練では持ち込めません。

※災害時は、平常時の処理方法と異なる可能性があるため、平時のごみ区分とは違う場合があります。今回の訓練では上記のような区分を想定しますが、被災時には変更される可能性もあります。

模擬訓練 実施要項

(例)

令和 年 月 日()
(予備日:令和 年 月 日())

目 次

1 . はじめに	1
2 . 当日のスケジュール.....	3
3 . 災害廃棄物処理についての基礎的な事項の説明.....	4
4 . 模擬訓練について～使用のごみの区分～	5
5 . 模擬訓練について～住民仮置場のレイアウトと搬入経路～	6
6 . 模擬訓練について～模擬訓練の進め方～	7
7 . 模擬訓練について～注意事項～	9
8 . 意見交換について.....	11
9 . 緊急連絡体制.....	12

1 . はじめに

目的

災害時に住民の方が速やかに片付けごみを排出できるように、災害廃棄物に関する基礎的知識を説明し、実際に住民仮置場への排出訓練を実施します。また、災害時に町職員が迅速な対応ができるように、机上ではなく現場における模擬訓練を実施します。

参加対象

対象地域のみなさま(プレイヤー)
かつらぎ町廃棄物担当職員(プレイヤー)
県廃棄物担当職員、関係団体等(事務局、オブザーバー)

開催日

月 日() 10:30 ~ 16:30 (予備日: 月 日())

訓練場所

(研修・集合場所:)
(住民仮置場:)

対象地域の位置図

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
(出典の明示が必要。Google Map は使用しない。)

住民仮置場の位置図の詳細

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
(出典の明示が必要。Google Map は使用しない。)

訓練方法

住民の方が、自宅から住民仮置場まで、災害廃棄物(片付けごみ)を搬出していただきます。

かつらぎ町廃棄物担当職員が、住民仮置場の設置から廃棄物の受入シミュレーションを実施します。



期待する効果

- ・片付けごみの分別搬入の重要性を確認
- ・住民の方の片付けごみ排出の疑似体験
- ・町廃棄物担当職員における災害廃棄物処理対応の疑似体験
- ・関係団体含む関係者との交流・意見交換
(・災害時の便乗ごみの削減)

2 . 当日のスケジュール

時間	内容
10:00 ~ 10:30	受付
10:30 ~ 11:20 (50分)	災害廃棄物処理についての 基礎的な事項の説明
11:20 ~ 11:35 (15分)	模擬訓練の進め方や 注意事項等についての説明
11:35 ~ 13:00 (85分)	昼休憩
(12:30 ~ 13:00	ボランティアの方への説明)
13:00 ~ 15:00 (120分)	模擬訓練
15:00 ~ 15:30 (30分)	(実施場所)へ集合
15:30 ~ 16:00 (30分)	意見交換
16:00 ~ 16:15 (15分)	訓練について講評
16:15 ~ 16:30 (15分)	アンケート記入
16:30	解散

9:00 ~ 10:30:設営、16:30 ~ 17:00:後片づけ

-  : 屋内での行事
-  : 屋外での行事

適宜、修正してください。

3 . 災害廃棄物処理についての基礎的な事項の説明

(10:30 ~ 11:20 (実施場所))

災害廃棄物処理についての基礎的な講演をします。
講演資料は、当日別途配布します。

【用語の説明】

災害廃棄物	災害(地震や水害等)によって被害を受けたことで出てくる廃棄物(ごみ)のこと。
片付けごみ	災害によって使えなくなった家財等。
仮置場	災害廃棄物を一時的に保管するための場所。 基本的に町が主体となって設置する、ある程度の広さを持った場所。
住民(用)仮置場	被災されたみなさんの生活を再建するために、家の中を片付けることによって発生した片付けごみを持ってきていただく場所。 基本的に被災地域で設置することを想定したもの。 (設置主体は、町になる場合も地域の方となる場合もある。)

適宜、修正してください。

4 . 模擬訓練について～使用のごみの区分～

模擬訓練で取り扱う廃棄物の種類は次の通りです。廃棄物は住民の皆様から持ってきていただく**実際のごみ(退蔵品)**を使用します。

事前に記入していただいた調査票を返却しますので、どの種類のごみを排出するのか、各自再度ご確認ください。

分別区分	具体例
可燃物	布類
可燃粗大	木製家具、建具類
畳・布団・敷物類	畳、布団、敷物類、ソファ、マットレス
不燃物	破碎選別ごみ、ガラス、陶磁器、瓦、ブロック、缶類、ビン類
金属くず	スチール家具、自転車
廃家電	小型家電等
処理困難物	スプレー缶、電池

生ごみ・プラスチック製容器包装類・ペットボトル・古紙類は災害廃棄物の住民仮置場には持ち込めません。

パソコン・エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機等の電化製品は、今回の訓練では基本的には持ち込めません。

災害時は、平常時の処理方法と異なる可能性があるため、平時のごみ区分とは違う場合があります。今回の訓練では上記のような区分を想定しますが、被災時には変更される可能性もあります。

5 . 模擬訓練について～住民仮置場のレイアウトと搬入経路～

住民仮置場のレイアウトは、次の通りです。

図の ～ は、前頁の廃棄物区分となっています。

下図の搬入経路に従って、該当する箇所を持ってきたごみを下ろしていただきます。

訓練実施地域の住民仮置場に合わせて（大きさ、形状等）作成してください。

住民仮置場の搬入ルート

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
（出典の明示が必要。Google Map は使用しない。）

住民仮置場のレイアウト

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
（出典の明示が必要。Google Map は使用しない。）

訓練実施地域と対応方針を
検討し修正してください。
(下線部は要検討)

6 . 模擬訓練について ~ 模擬訓練の進め方 ~

< 家から持ち出し >

- ・ 事前調査票に記入したごみを、軽トラック等に積み込んでください。
- ・ 引取りを希望されている方は、地域のお手伝いの方が伺いますので、排出するものをご用意して、お家でお待ちください。
- ・ ごみを積み込む際、住民仮置場の配置図を参考に、できるだけ荷下ろししやすいように積み込みをお願いします。
- ・ 細かいものを袋に入れる際は、区分(~)ごとに入れてください(区分が違うものを混ぜて入れないでください)。

< 運搬 >

- ・ 軽トラック等で運搬する場合、荷崩れや落下が起きないように、十分気を付けてください。
- ・ 住民仮置場前の道は狭くなっていますので、誘導員の指示に従って運転をお願いします。
- ・ 確認しながら搬入を行いますので、搬入まで時間がかかる可能性があります。ご理解とご協力の程よろしくお願いいいたします。

< 住民仮置場へ搬入 >

- ・ 住民仮置場の開設時間内(13:00 ~ 15:00)に、各自、事前調査票に記入した「片付けごみ」を住民仮置場へ持ってきてください。
- ・ 住民仮置場の入口では、受入の手続きを行います。確認する事項は次の通りです。
 - ✓ お名前
 - ✓ 持ってきたもの(わかれば、大体の量)
- ・ 受付が終わったら、「災害により発生したごみの出し方・住民仮置場のご案内」等に従って、住民仮置場にごみを下ろしてください。
- ・ 住民仮置場内は一方通行です。
- ・ 各置場には、分別区分を明示していますので、該当する場所においてください。
- ・ 誘導員の指示に従って、安全に運搬してください。
- ・ 全て下ろし終わったら、住民仮置場から退場して、一度ご自宅へ戻ってください。(15:30 までに再度 _____ へ集合してください。)

【住民仮置場搬入イメージ】



住民仮置場の入口で、町職員にお名前と持ってきた「片付けごみ」がどのようなものを伝えて受付をしてもらってから、搬入していただきます。



レイアウトにあわせて、ごみの区分がわかるように、看板を設置していますので、事前調査票の区分に従って、荷下ろしをお願いします。

区分がわからない場合は、住民仮置場にいる町職員等へ確認してください。



廃棄物分別区分ごとに、それぞれの場所で荷下ろししてください。

自身で荷下ろしができなさそうな場合は、住民仮置場にいる町職員やボランティア等がお手伝いしますので、声をかけてください。

7 . 模擬訓練について～注意事項～

< 安全について >

○全般

- ・ 災害ごみには、割れたガラスや金属などがあり大変危険です。作業するときは、長袖・長ズボンで行いましょう。手袋や長靴なども使用しましょう。
- ・ 目や口に粉じんが入らないよう、保護メガネやマスクを使用しましょう。
- ・ 重たいものを移動させる時などは、挟まれや転倒に注意し、できるだけ一人で作業しないようにしましょう。
- ・ 夏場は熱中症に注意し、冬場は防寒対策をして作業しましょう。

○搬出するとき

- ・ 重いものを移動させる時等、挟まれ・転倒等に十分注意して作業をしてください。人手が足りない場合は、事務局へ相談してください。
- ・ スプレー缶等、危険物を運搬する場合、燃えやすいものとは離して運搬してください。

○住民仮置場内

- ・ 場内は一方通行で、徐行運転でお願いします。
- ・ 住民仮置場内は、人と車両が接触するおそれがありますので、どちらも十分注意し作業を行ってください。

必要な場合は使用してください。

< 新型コロナウイルス感染症予防対策 >

- ・ 参加者の皆様は、室内外に問わず、マスクの着用をお願いいたします。
- ・ 消毒液を設置しますので、室内へ入る際は、手指の消毒をお願いいたします。
- ・ 当日の受付時に、非接触型の体温計を使用し、体温を測定しますのでご協力ください。なお、37.5 以上の場合は、参加を控えていただきます。
- ・ 意見交換等の際は、フェイスガードをお配りしますので、着用をお願いいたします。フェイスガードは個人専用とし、使用後はお持ち帰りください。
- ・ 室内でのプログラムでは、密にならないよう、間隔をあけて座席を配置します。また、こまめな換気を行います。
- ・ 感染拡大防止等のために、次の方は参加の自粛をお願いいたします。
 - ✓ 感染者と濃厚接触した可能性が高いことが明らかな方
 - ✓ 発熱等の風邪症状の見られる方
 - ✓ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方で会議の参加に不安のある方

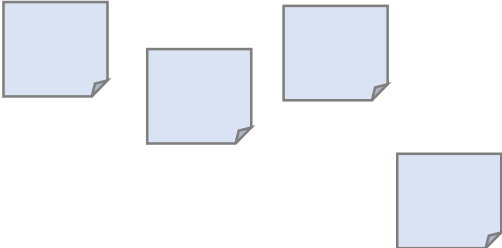
8 . 意見交換について

(15:30 ~ 16:00 (実施場所))

実際に、ごみを排出してみて、困ったこと、わからなかったことがあったと思います。

意見を出し合って、話し合ってみてください。

また、これがもし実際の災害だった場合、どのようにすればうまくいくのか、解決できるのか、についても話し合ってみてください。

ごみ出しをしてみて、困ったこと、わからなかったこと	どうすれば解決できるか
 <p>< 例 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ごみの区分がわかりにくい。・運搬手段がなくて困った。・人手が足りなくて困った。	<p>< 例 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ごみの区分はできるだけ少なくしてほしい。・災害時に回収を速やかに依頼できるようにしてほしい。

< 時間配分 >

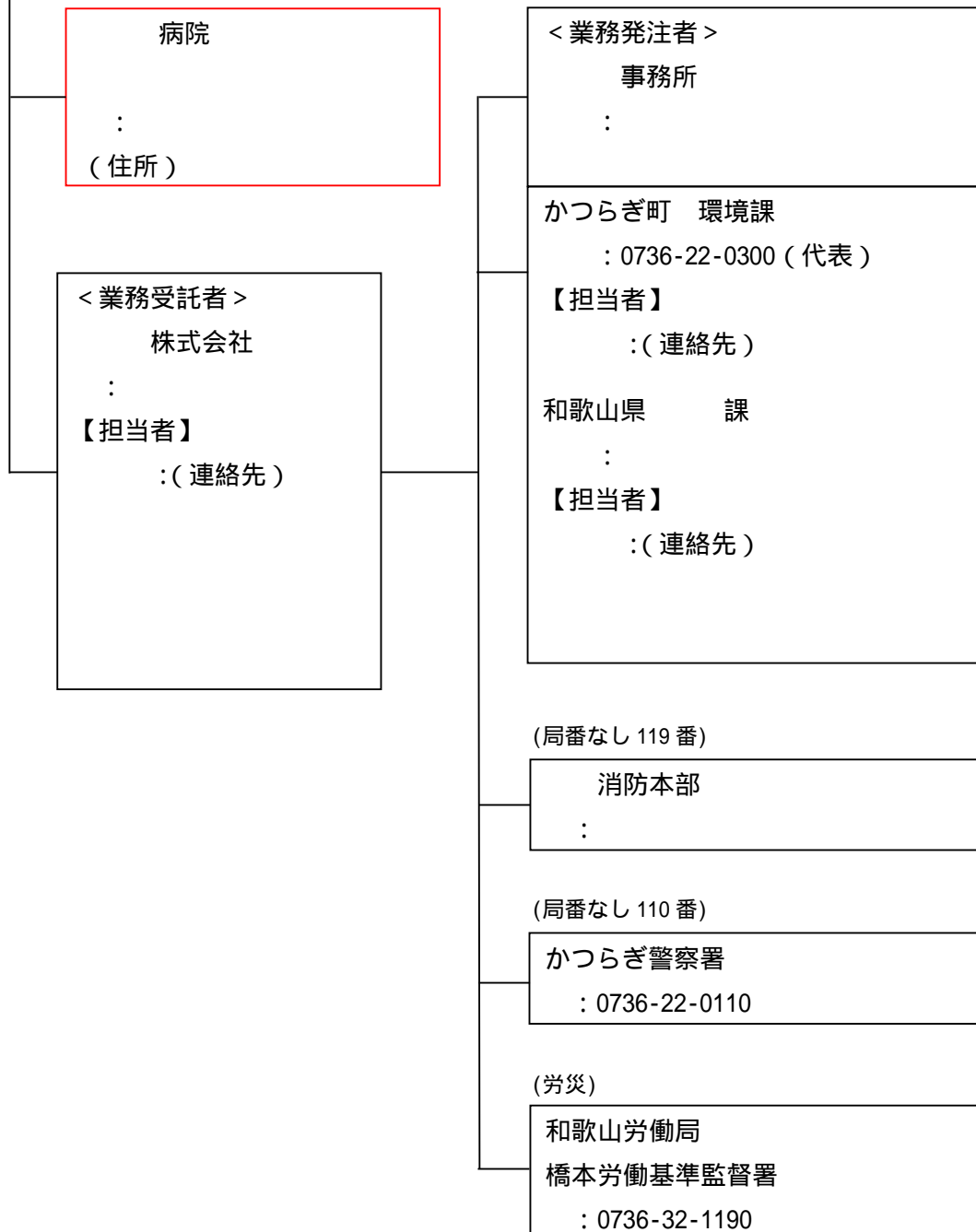
1人1人で考える:付箋に意見記入(5分)... について

グループで話し合う:意見交換(10分)... について

グループで話し合う:解決案について意見交換(10分)... について

最後に、模擬訓練についてのアンケートへのご協力をお願いいたします。

9 . 緊急連絡体制



適宜、修正してください。

災害により発生したごみの出し方・ 住民仮置場のご案内

注意事項

- ・受付でお名前と持ってきたものを伝えてください。
- ・基本的に調査票に記載したものを出してください。
- ・細かいものを袋に入れて出す場合は、下記の区分ごとにいれてください。
(混ぜて入れないでください。)
- ・危険なもの(スプレー缶等)は、他のごみと分けてください。
- ・場内は一方通行で、徐行してください。
- ・ごみは出来るだけ持ち込んだ方が自分で下ろしてください。
- ・不明点は、場内の担当に質問してください。



廃棄物受入区分

<p>可燃物</p> <p>被災して使えなくなった 布類など</p>	<p>可燃粗大</p> <p>木製家具、建類</p>	<p>畳・布団・敷物類</p> <p>畳、布団、ソファ、 マットレスなど</p>	<p>不燃物</p> <p>破砕選別ごみ、ガラス、 陶磁器、瓦、ブロック</p>
<p>金属くず</p> <p>スチール家具、自転車など</p>	<p>廃家電</p> <p>家電リサイクル品、 小型家電</p>	<p>処理困難物 (スプレー缶、電池)</p>	

場所： **裏面をご覧ください**

開設期間： 月 日 13:00 ~ 15:00

高齢者世帯等で、家の外にごみを運べない場合などは、事務局へ相談してください。

【問合先】

かつらぎ町 環境課

電話：××× - ×××× - ××××

事務局

電話：××× - ×××× - ××××

住民仮置場の位置図の詳細

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
(出典の明示が必要。Google Map は使用しない。)

出典： を加工して作成

住民仮置場のレイアウト

注！著作権を侵害しない地図を利用する。
(出典の明示が必要。Google Map は使用しない。)

かつらぎ町 住民仮置場 搬入者受付簿

記入者(受付係)氏名 _____

受付日 令和 年 月 日
仮置場名 _____

番号	受付時間	持ってこられた方 (フリガナ) 氏名	持ってこられたもの					左記以外	
			可燃物	可燃粗大 畳・布団・敷物類	不燃物	金属くず	廃家電		処理困難物
1	:								
2	:								
3	:								
4	:								
5	:								
6	:								
7	:								
8	:								
9	:								
10	:								

(わかれば個数なども記入してください。数量がわからない場合は該当するところに○を入れてください。)

かつらぎ町片付けごみ搬出模擬訓練に関するアンケート

このたびは片付けごみ搬出模擬訓練にご参加いただき、ありがとうございました。
今後の研修会等の内容に活かすため、以下のアンケートにご協力ください。

1. 模擬訓練の内容について

本日の模擬訓練を通して、以下の設問ごとにあなたの考えに最も近い選択肢を で囲んでください。

(1) 午前の講演について、どのよう に感じましたか。	難しかった 理解できた ----- ----- ----- ----- 1 2 3 4 5
(2) 午後の模擬訓練は、実際の災害 時にも役立つと考えますか。	役に立たない 役に立つ ----- ----- ----- ----- 1 2 3 4 5
(3) 午後の意見交換した内容につい て、実際の災害時の対策とし て、役立つと考えますか。	役に立たない 役に立つ ----- ----- ----- ----- 1 2 3 4 5
(4) 本日の感想を教えてください。	

2. 災害時の対応について

本日の意見交換では出し切れなかった、災害時のごみ出しに関する意見や、要望等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

災害によって発生する ごみの基本

資料提供：国土館大学 専任講師
国立環境研究所 客員研究員
森朋子

1

災害が起きたあとの様子



2



災害ごみ処理の基本的な情報

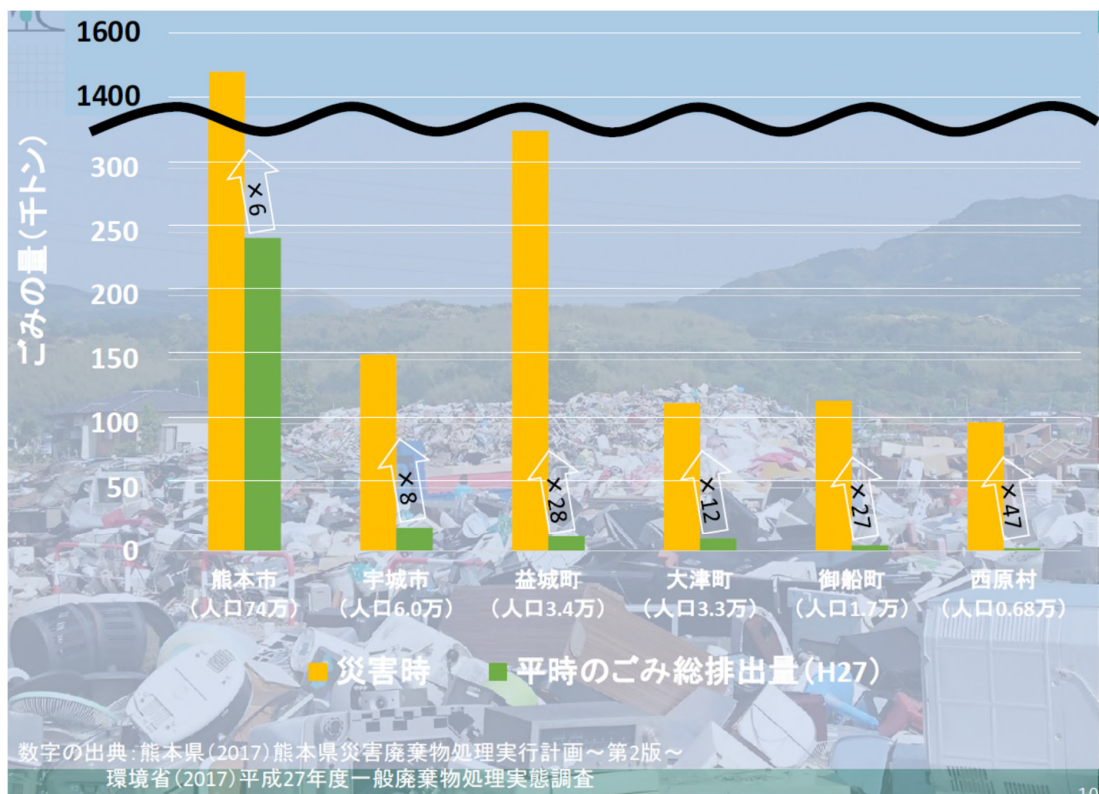
5

災害時に発生するごみの内容

名前	内容
片付けごみ	災害によって使えなくなった家財
解体ごみ	災害で破壊された家屋の解体によって出てくるごみ（コンクリート、木材等）
し尿	仮設トイレに溜まったし尿 使用済みの携帯トイレ
避難所ごみ	避難所生活にともなって出てくるごみ
生活ごみ （普通ごみ）	通常の生活から出てくるごみ

6

災害時に発生するごみの量



災害ごみの仮置場(集積所)とは?

災害発生後の生活環境の確保・復旧等のため、
災害廃棄物を一時的に集積し、分別・保管しておく場所。



災害時に発生するごみの処理の流れ



9

「良い仮置場」とは？

- 搬入された廃棄物が**適切に分別**されている。
- 廃棄物が**秩序**だてて搬入・排出されている。
- 仮置場の内部や周辺が**安全**で、**良好な衛生状態**を保っている。
- 仮置場として使用した土地が適切・スムーズに復旧できるよう対策が講じられている。



環境省技術資料より

10

でも実際には・・・

- 搬入された廃棄物が**混合状態**に。
- 仮置場に通じる道路で**大渋滞**が発生。入口での確認が十分されず、**無秩序**に廃棄物が投棄される。
- **火災、事故、窃盗**がおきたり、**煤塵、悪臭、害虫**が発生したりする。
- 仮置場の返還時に様々なトラブルが発生する。



11

市民が災害ごみを仮置場に出すまでによく起きる問題

- ごみの分別や搬出に必要な**情報**が入手できない。
- ごみの搬出に必要な**人手**が確保できない。
- ごみの搬出に必要な**道具や車両**などが確保できない。



12

災害時によく起きるごみの問題

13

大量の混合ごみが発生する



衛生環境が急激に悪化
(悪臭、害獣、害虫の発生など)

14

自治体が把握していないごみ置き場ができる



火災の発生も懸念される



仮置場までの大渋滞が発生する



産経新聞より

便乗ごみが発生する



人同士のトラブルが発生する



災害ごみ対策において 市民に期待されること

19

災害ごみを分別する

自治体や災害にもよるが、おおよそ5～8区分の分別を求められることが多い。通常の生活ごみと片付けで発生したごみの分別も求められる。

災害が発生したとき

- **分別ルールに関する情報を入手して、それに従う。**
- **正しい分別ルールの情報を周囲の人と共有する。**

災害がおきる前

- **事前に分別ルールを確認しておく。**
- **災害がおきたときの情報伝達の仕組みを地域住民と相談しておく。**

20

適切な場所にごみを出す

災害が発生したとき

- 仮置場に関する情報を入手して、それに従う。
- 必要に応じて、地域の仮置場を管理する。

災害がおきる前

- 災害がおきたときの情報伝達の仕組みを周辺住民と相談しておく。
- 地域の仮置場の場所や管理方法について、周辺住民と相談しておく。



21

市民同士が助け合う

自分の被災の程度によっては、他人の片付けを手伝う余裕はないかも…。



近所の人に自分の家を片付けられるのはちょっと…。



ボランティアの片付け支援は助かったけど、大切なものまで捨てられてしまった…。



- 誰が、どのような条件で片付けの支援を行うのか
 - 特に支援が必要なのは誰か
 - 片付けのときに被災した住民とどのようにコミュニケーションをとるのか などなど
- 事前に地域で話し合っておくことが大切！

22

今日の仮置場（集積所）訓練では・・・

- 災害廃棄物の仮置場がどんなものなのか、どんなふう
に運営されるのか、ぜひ**楽しんで体感**してください。
- 「**もし本当に災害のときだったら・・・？**」今日は問題な
くても、災害時には上手くできなさそうなことを見つ
けてください。
- 今日知ったこと、感じたことをご家族や地域の方に話
してみてください。

23

【ご参考】国立環境研究所の 災害廃棄物情報プラットフォーム



<http://dwasteinfo.nies.go.jp/>
災害廃棄物に関する様々な情報を見ることができます。

<http://dwasteinfo.nies.go.jp/news/public.html>

災害廃棄物について一般の方向けに
分かりやすく説明した動画も
あります！



防災落語『それ、ゴミやおまへんで、被災財でっせ』

ゴスペル亭パウロ 防災士・関西キリスト災害ネットワーク、クリスチャン防災士ネットワーク世話人
小笠原 浩一 氏

演目概要

- ▶ 南海トラフ巨大地震が発生により被災した、しっかり者の子供・定吉とその家族。定吉が、防災教室で学んださまざまな知識を活かし、母親に伝え、家族を助ける。
- ▶ 家具固定、災害用伝言ダイヤル「171」の活用やボランティアの視点から見た片付けごみの排出支援を、住民側の心に寄り添った立場からの経験談を盛り込み、登場人物の面白おかしいやりとりで、命を守る防災の備えや共助の大切さを紹介した。

会場は、セミナーにありがちな張り詰めた雰囲気から一転し、笑いに包まれ、参加者は住民視線の大切さを実感した。

笑って泣いて、
キリストを伝える!!

イエスの愛のメッセージを、落語で伝えます。日本のあちこちで、落語の種が蒔かれ、その芽が出て開花した所もあります。

☑ 落語 13 演目

命を守るために、防災落語を!!

遠くに台風が来たら暴風など、想定外の災害が発生する時、そして、近い将来くるであろう南海トラフ大地震や首都圏下型大地震に対して「備え」が必要。(被災地(東北・東日本)復興支援) 防災落語や災害被害処理落語「それ、ゴミやおまへんで、被災財でっせ」(完成)

☑ 防災落語 6 演目
防災士・関西キリスト災害ネットワーク副代表
クリスチャン防災士ネットワーク世話人

特殊詐欺防止落語、聴いてください。

毎年、400億円前後の大切なお金が被害にあっています。
その手口は、さらに巧妙になってきました。
その手口に対する対策のヒントを落語で笑いながら聴いて頂きます。

☑ 特殊詐欺防止落語 4 演目

その他の演目

☑ 古典落語 4 演目
☑ 依存症からの回復落語 1 演目
☑ 終活落語 2 演目
☑ 事業継承 2 演目
☑ 遺言落語 1 演目(新作)
☑ 平和落語 1 演目(新作)

組み合わせは自由です。3、4人の集まりから、200人を超えるホールまで、幼稚園から老人介護施設まで、行政・社会福祉協議会・教会・福祉施設・自治会・子供会・老人会等(0174-2020444)まで1500名(1500名)までのご依頼のご連絡はお気軽に、落語中継、聴衆対象者などが決まっている範囲で結構ですので、お気軽にお問い合わせください。

心霊現象を伝える霊感落語家
ゴスペル亭パウロ
TEL.090-9165-2698
0174-2020444

落語の紙上ドキュメント

以下は、落語の中のセリフの一節、紙上では伝わり難いのですがご覧あれ...

♡「では、この分別しておいてある被災財を、一次仮置き場に運ぶぞ。軽トラックもってきてくれ。」

♡「へっ、わかりました。でもね、さっきから思うてましたんやけど、燃やしたら一緒にでんがな、早よ早よ、何でも一切合切、ほりこみましょ。」

♡「あな、それでは、一次仮置き場で分別しなならんやないか?ここは、ええか、わしの言う段取りで運んでくれ。」

♡「へっ、そういうことか、わかりました。」

♡「まずは、ガラス陶器・金属類やそれから燃やすもの、それから、家電4品目に大型物を積んで最後は畳を積んでんか。」



♡「何で、この順番なん」

♡「濡れてる畳を一番先に卸す、つまり仮置き場の一番手前に置くんや」

♡「なるほど、こう分別するんか。」



「すんまへん、これ、家庭ごみなんですけど、ゴミやさけ、一緒に持って行って。」

♡「ご主人様、これは、ゴミやおまへん。被災財っていう財産なんです。家庭ごみは申し訳ありませんが、地域のいつもの場所に、いつもの曜日に、いつもの時間にだして頂けませんでしょうか?」

「それは、そうでんな、わしは、あかんって言うたんですわ。それを、うちの力カが」

「何をいうてんの、お父ちゃんがえええええって、言うたんやろ。お父ちゃんが」

「お母ちゃん、ごめん。」